

屋久島生態系モニタリング

登山届の分析による登山者の動向 - 上

登山届は遭難等の事故に対応するため、登山者が警察に提出するものであるが、これにより登山の大枠をつかむことができる。

1994・95年の月別の届出人数をみると、5月、7月、8月の3ヶ月間に集中しており、この3ヶ月間で年間届出人数の半数を超える。

都道府県別では、鹿児島県(島内を除く)が6~15%、東京圏が20%前後、関西圏が10~20%、福岡県が10%前後の比率を示している。このように屋久島の登山者は、遠方より登山に訪れる傾向にある。

また、山泊日数別の人数を見ると、1993年に日帰りが21.1%であったのに対して、94年には37.4%、96年には44.4%と伸びている。これに対し2泊、3泊の比率は漸減してきおり、登山形態が大きく変化してきていることが分かる。

今年のGW期間中は、天候に恵まれませんでした。最も多かった五月四日には六百五十三名、GW期間全体では、二千百十五名の方が、屋久島の象徴である縄文杉を訪れ

た。

縄文杉周辺パトロール実施

当保全センターでは屋久島山岳部利用対策協議会の一員として、GW期間中に縄文杉展望デッキ周辺での誘導整理及び登山者のマナー向上を目的にパトロールを実施しました。

今年のパトロールが、縄文杉へ訪れる登山客の更なるマナーアップ及び安全で思い深い登山の一助となれば幸いです。

第五次にあたる平成十二年度調査では、日本最南の高層湿原「花之江河・小花之江河」の保全対策を実施するため植生及び土砂堆積の実態を詳細にわたり調査を行いました。



平成十二年度のモニタリング調査結果では、花之江河・小花之江河の広範囲において、花崗岩が風化し砂状になった「マサ土」と呼ばれる大量の土砂が恒常的に堆積しており、

その結果湿原の乾燥化が進行し、湿原特有の植生への悪影響が危惧され、早急に堆積土砂の除去を行う等の措置を講ずる必要性が指摘されています。

五月二十三日屋久島自然休養林荒川地区保護管理協議会総会が開催されました。

この日は、引き続きヤクスギランドを美しくする会の総会も開催され平成十三年度予算等が審議されました。

日本最南の高層湿原「花之江河・小花之江河」の保全対策検討!
第五次屋久島生態系モニタリング調査報告

平成十二年度の屋久島生態系モニタリング調査において日本最南の高層湿原「花之江河・小花之江河」の植生と土砂堆積の実態を調査、今後の保全対策を検討。

屋久島の植物



サ科
グモ
シイ
ムと
マさ

平地から山地の野原や林縁・林下に自生している。葉の模様と色は、マムシにそっくりな様相を呈している。更に、花もマムシが鎌首をもたげた様な形をしている。

花期は、三〜五月で、果実は八〜九月頃赤く熟する。

お知らせ

新品種

「屋久翁」

独立行政法人林木育種センター九州育種場が、樹齢千年を超える屋久杉から育成したクローン杉「屋久翁」を新品種として命名登録しました。

特徴は、スギハダ二に対する抵抗力が強く、葉の濃緑色が衰えない。また、成長が緩やかなことから、その美しい樹姿が保たれ、庭園、公園などの庭木、緑化樹木などとして活用が期待されます。

屋久島自然休養林

森林環境整備推進協力金の実施

森林及び利用施設の整備と環境美化等のため、協力金制度を導入している。

協力金の額 高校生以上 1人 300円（島内在住者を除く）

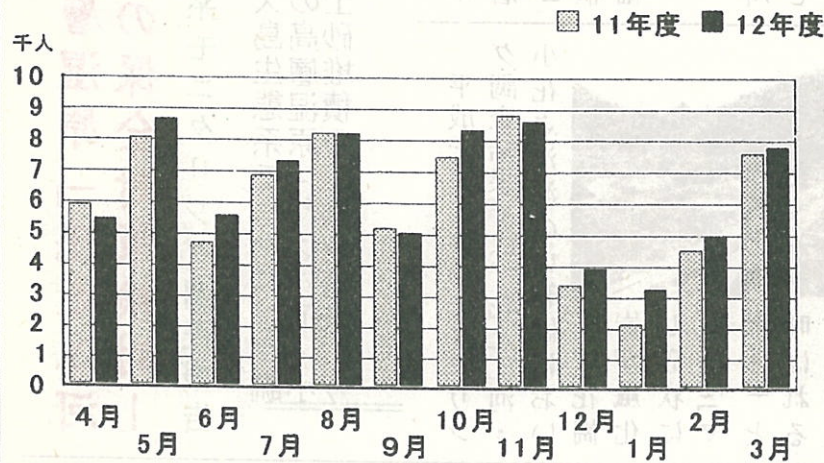
平成12年度協力金徴収額合計 33,368,373円

委託契約相手方 ヤクスギランド 「ヤクスギランドを美しくする会」
白谷雲水峡 「大自然緑の会」

利用者数

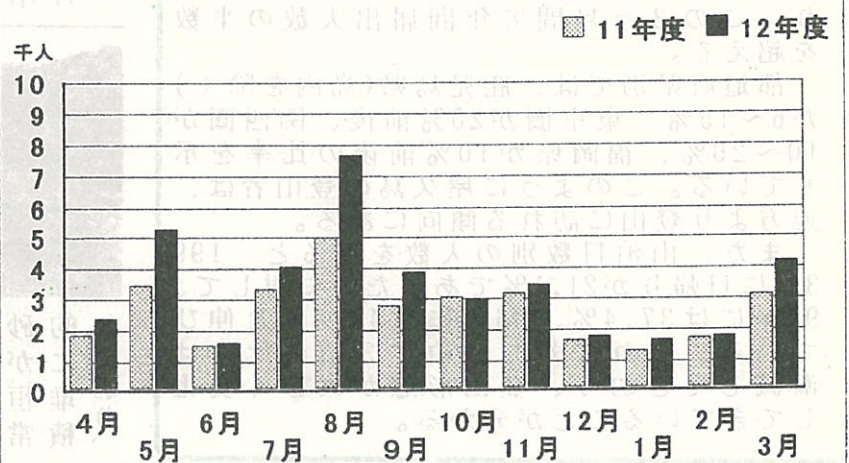
ヤクスギランド月別利用者数

12年度利用者数合計 77,378人
11年度利用者数合計 72,920人



白谷雲水峡月別利用者数

12年度利用者数合計 40,893人
11年度利用者数合計 32,174人



§ 森林環境整備推進協力金について §

皆様方から頂きました協力金は、下記のとおり使用されております。

皆様方の自然休養林に対する協力に対しまして、心からお礼申し上げます。森林環境整備推進協力金は、全てを収入のあった次年度にヤクスギランドと白谷雲水峡の森林環境整備事業に当てています。

1 平成11年度収入

協力金として徴収した金額 30,386千円

2 平成12年度特定森林環境整備事業費

自然休養林の環境整備等に拠出した金額 30,386千円

支出内訳

- (1) 委託請負金 21,231千円
協力金徴収業務、林内管理、清掃、リーフレット・チケット印刷、トイレ汲み取り、水質検査等
- (2) 施設整備 7,193千円
看板整備、歩道修理、樹名板設置等
- (3) 森林教育及び普及啓発 1,687千円
リーフレット印刷・チケット印刷、写真代等
- (4) その他 275千円
事務用品等

3 平成12年度協力金収入

協力金として徴収した金額 33,368千円
※ 平成13年度の整備資金となる予定です。

☆ 国有林野事業の業務費（森林空間総合利用）及び治山事業でも、自然休養林に関連する事業を実施しています。

平成13年6月1日 屋久島森林環境保全センター
お問い合わせ TEL 09974-2-0331